

環 境 宣 言

私たちは人間の生活が豊かで便利なものとなることを目指して、科学技術や経済活動の発展に取り組んできました。しかし、その一方で、そうした活動そのものが環境に大きな負荷を与え、自動車公害やダイオキシン問題を始めとする様々な環境汚染や地球温暖化など、地球規模での環境問題を生み出す結果となり、今、新たな地球環境づくりが人類共通の課題となっています。

このような中であって、豊かな自然を保全するとともに、限りある資源やエネルギーを次世代に引き継ぐことが、21世紀を生きる私たちの使命と考えています。その意味でも、私たちは、日常の行動様式を環境への負荷が少なくなるよう改め、一人一人の価値観やライフスタイルを変えていかなければなりません。

鳥取工業高等学校では、京都議定書が発効した年から、省資源・省エネルギー運動に取り組むとともに、リサイクルや再利用といった循環型社会の構築のため、鳥取県版環境管理システムⅡ種（TEASビギナーズ）を取り入れることとしました。

専門高校の特性を活かした環境先進校を目指し、学校における様々な取り組みをとおして、環境に対する意識を高め、環境に配慮した行動がとれる人材の育成に努めたいと考えています。また、全ての生徒及び教職員が一丸となって、環境問題の解決に向けて先駆的な役割を担っていきたいと思います。

そのためにも、環境問題に対する正しい理解と環境保全に向けた環境教育の推進に努めるとともに、下記の事項を重点課題として、本校における環境改善目標を定め、自己点検や定期的な見直しを行い改善を図っていきます。

また、この宣言及び目標達成状況を全ての生徒及び教職員に周知するとともに、広く一般に公表します。

記

- (1) 環境教育、環境学習、5Sを推進します。
- (2) 省資源、省エネルギーを推進します。
- (3) ゴミの分別排出、減量化に努めます。
- (4) 再使用、リサイクルの徹底を図ります。
- (5) 取り組み状況、目標の達成率を公表します。
- (6) 環境保全活動を推進します。
- (7) グリーン購入を積極的に進めます。
- (8) 環境保全関連法規やその他の規制の遵守に努めます。

制定 平成17年3月 1日

改訂 令和 2年4月 1日

鳥取県立鳥取工業高等学校
学校長 堀尾 英明